

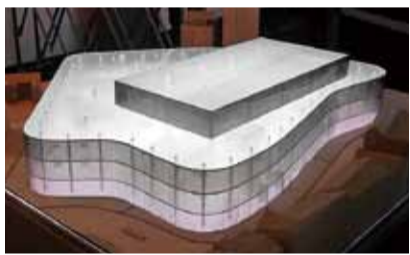
今村研の学生たちと模型作品群。右端が今村教授



今村研が再現2模型

「フォスター名建築展」に

東京・六本木の森美術館で年初から2月14日まで開催された「フォスター十パーセントナース展」に、建築都市環境学科・今村創平准教授の研究室の学生が制作した作品が展示され、注目を集めた。



「フォスター十パーセントナース」はハイテク建築の分野で世界的な評価を受け、「モダンイズムのモーツァルト」と呼ばれるイギリスの建築家、ノーマン・フォスター（80）が率いる国際的建築設計組織「ガーキン」（ピクルスに由来するキュウリの愛称でロンドン市民に親しまれている「スイス・

リ本社ビル」や、東西ドイツ統合の象徴「ドイツ連邦議会新議事堂・ライヒスターク」など、数多くの現代建築史上の名作を生み出している。「都市と建築のイノベーション」というタイト

六本木ヒルズ森タワー52階の展示会場入り口を入ってすぐの「特等席」に展示された今村研の作品は「オートノマス・ハウス」II写真左の上と「ウィリス・フェーバー

「デュマス本社」II下の2枚の2つの模型。二重の網目状の球体が特徴のオートノマス・ハウスは住宅として設計されたもので、若き日のフォスターが強い影響を受けたアメリカの発明家で思想家のバックミンスター・フラーと共同で設計。「建築は軽やかさと自然の光の芸術である」というフォスターの哲学を具現化した原点とも言

「デュマス本社」II下の2枚の2つの模型。二重の網目状の球体が特徴のオートノマス・ハウスは住宅として設計されたもので、若き日のフォスターが強い影響を受けたアメリカの発明家で思想家のバックミンスター・フラーと共同で設計。「建築は軽やかさと自然の光の芸術である」というフォスターの哲学を具現化した原点とも言

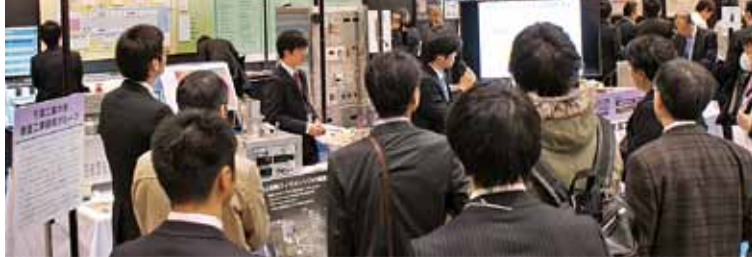
「デュマス本社」II下の2枚の2つの模型。二重の網目状の球体が特徴のオートノマス・ハウスは住宅として設計されたもので、若き日のフォスターが強い影響を受けたアメリカの発明家で思想家のバックミンスター・フラーと共同で設計。「建築は軽やかさと自然の光の芸術である」というフォスターの哲学を具現化した原点とも言

「デュマス本社」II下の2枚の2つの模型。二重の網目状の球体が特徴のオートノマス・ハウスは住宅として設計されたもので、若き日のフォスターが強い影響を受けたアメリカの発明家で思想家のバックミンスター・フラーと共同で設計。「建築は軽やかさと自然の光の芸術である」というフォスターの哲学を具現化した原点とも言

「デュマス本社」II下の2枚の2つの模型。二重の網目状の球体が特徴のオートノマス・ハウスは住宅として設計されたもので、若き日のフォスターが強い影響を受けたアメリカの発明家で思想家のバックミンスター・フラーと共同で設計。「建築は軽やかさと自然の光の芸術である」というフォスターの哲学を具現化した原点とも言

「デュマス本社」II下の2枚の2つの模型。二重の網目状の球体が特徴のオートノマス・ハウスは住宅として設計されたもので、若き日のフォスターが強い影響を受けたアメリカの発明家で思想家のバックミンスター・フラーと共同で設計。「建築は軽やかさと自然の光の芸術である」というフォスターの哲学を具現化した原点とも言

「デュマス本社」II下の2枚の2つの模型。二重の網目状の球体が特徴のオートノマス・ハウスは住宅として設計されたもので、若き日のフォスターが強い影響を受けたアメリカの発明家で思想家のバックミンスター・フラーと共同で設計。「建築は軽やかさと自然の光の芸術である」というフォスターの哲学を具現化した原点とも言



最優秀賞に滝口さん

優秀賞に金田君、昆君

27年度・学生懸賞論文 受賞作決まる

本学図書館（館長 赤羽弘和・建築都市環境学科教授）が昨年9月18日～11月14日に募集した平成27年度・第4回学生懸賞論文の受賞者が決まった。課題はA・自由課題、B・東京オリンピック・パラリンピックに向けて先端科学技術はどのように貢献できるか、C・図書館所蔵図書を読んだ感想文—の3つ。12点の応募があり、選考の結果、最優秀賞には課題C・滝口亜美さん（デザイン科学科3年）の「人間工学からの発想」が与えてきたもの、「人間工学からの発想」クオリティ・ライフの探究（小原二郎著）が選ばれた。



最優秀賞の滝口さん(左から2人目)。左は赤羽図書館長、右は小宮学長と屋代智之・情報ネットワーク学科教授

優秀賞には課題A・金田胤人君（プロジェクトマネジメント学科2年）の「真に自分であるために」と、課題C・昆弘都君（情報ネットワーク学科1年）の『嫌われる勇氣』（岸見一郎・古賀史健著）が選ばれた。3人にはそれぞれ希望の学習教材が贈られた。滝口さんが読んだ本は本学の元理事・小原氏の著作で、滝口さんは、人間を大切にすることがゆえに、ほとんどの使いにくさを残す、など人間工学の奥深さに触れた思いをつづった。2年生の授業のときのことで、さらに発見があると思ひ読み返したという。

「過去にデザインした」あの椅子は本当に快適なものなのか、など考えさせられました。もう一度身の周りのことに目を向けてよく考えてみることを伝えたくて書きました。文章を書くことは得意ではなかったのですが、少し自信が持てたような気がします。直して下さった上野（義雪）先生に感謝します」と語った。

金田君は自由課題に挑戦。私という人間を殺さずに素敵な人間関係を作るには、と考へ、「自分を受け入れる」ことで相手の心を温かな感情で満たしたい、という思いにたどり着くまでを描いた。

昆君は読んだ本の「すべてに悩むは対人関係の悩み」の一文に衝撃を受けた。周りの見方に縛られていた自分に気づき、自身を見つめ直していく過程を書いた。審査した委員たちは「受賞作はどれも主張が明確で、自分の言葉で丁寧に論じていた。受け売りではない、自分の考えがはっきりと出ていた」。惜しくも受賞からは外れたが、日本の残飯問題や教育問題について

論じたものもあり、全体水準は高かった。日頃から疑問に思うことや関心を持っていることについて、本を読んだり思索を深めたりすることが優れた論文作成につながるようだ」と語った。

表面技術の最前線展示

サーテックで坂本研・プラズマ研究者たち

幸弘教授と研究室の大学院生ら・協力会社でVDRライフロセスに関する特別展示▽炭素系材料の気相合成法の一つ・熱フィラメントCVD装置を展示▽大気圧プラズマによる表面改質と陽極酸化によるメンブレンフィルターの作製実演—などを行った。プラズマ研究者らは「千葉工業大学プラズマフォーラム」のブースを

二宮小でロボット授業

総合工学研と先川原fURO室長

本学サークル・総合工学研究会と先川原正浩・未来ロボット技術研究センター（fURO）室長による出張授業「ロボット操縦体験」&講演が2月8日、船橋市前原東の市立二宮小学校（吉野一宏校長、児童約570人）で開かれ、同小6年生約80人に、ロボットを



①二宮小学校で講演する先川原室長
②小栗原小学校で

通じて科学技術の面白さを伝えた。1月に同市立小栗原小学校で開いた授業に続くもの。

総合工学研の柴田拓歩部長（未来ロボティクス学科2年）ら5人が持ち込んだのは2足歩行ロボット。今月開かれるロボット格闘技大会「ROB O-ONE」に出場する

実機で、5人は2つのフィールドで6年生にロボット操作を指導した。児童たちはコントローラをすくすくうまく操り、横歩きやパンチを繰り出し、標的を見事クリアして歓声を上げた。終盤には学生たちが格闘デモを披露。ロボットの機敏な動きや、倒れても起き上がる仕草に拍手が響いた。この後、先川原fURO室長が「最新ロボットのことがすごい」と題して講演した。

参加児童たちの感想は「ロボットの動きが滑らかで驚いた」「これを作るのがすごい！」「高齢化社会に役立つロボットを作りたい」と話す子ども。先川原室

倫理教育講習会開く



長は「科学技術が楽しいものだと思いきっかけになれば……」と話していた。総合工学研はオープンキャンパスの75人が受講

在学生を対象とした「倫理教育講習会」が、新習志野キャンパスで1月17日、津田沼キャンパスで21日に開かれ、延べ75人の学生たちが受講した

II写真。学内の研究者倫理委員会が中心になって開いた。講師役は本学OBの堀田光氏（昭和53年土木学科卒・技術士）。最近社

出版



惑星探査の最前線を見る

1995年、太陽系の外に惑星（系外惑星）が発見されて以降、惑星学のフィールドは銀河系へとドラスティックに広がっている。惑星研究の第一人者である松井所長



松井孝典所長

が、太陽系惑星と系外惑星との違い、惑星系の生

まれば、系外惑星探査の最前線などを初心者に分かるように解説してくれる。科学の幅広い基礎知識をもとに、宇宙にある我々の存在を考察させて

銀河系惑星学の挑戦

地球外生命の可能性をさぐる

著者 松井孝典・千葉工大惑星探査研究センター（PERC）所長
発行 日NHK出版
価格 1184円（税込み）

クラブの活動状況

文化会	期間	大会・発表会名
総合工学研究会	12/1、6、1/31	船橋市立小栗原小学校、オープンキャンパスロボット操縦体験、第17回&18回KONDO BATTELE
動画制作部	12/20	アニメーション研究会連合
茶道部	12/13、20	雪待茶会、白門茶会
ギタークラブ	12/12	第50回定期演奏会
ソフトメディア研究会	12/12	DTM合同討論会
電気研究部	12/12	理工学教室
天文研究部	12/12	理工学教室、天体観測
写真部	12/12	天体観測
吹奏楽部	12/13、26	千葉県アンサンブルコンテスト、定期演奏会
フィッシャークラブ	12/24	部内トラフト大会
放送研究部	12/23	番組発表会
TRPG研究会	12/25	クリスマスイベント
書道倶楽部	12/31~1/3	札書書き
マンガ研究会	12/31	コミックマーケットC89

上記クラブのほか、多くのクラブが課外活動に励んでいます。定期的ないろいろなクラブの活動状況をお知らせしています。学生たちのがんばりにご期待ください。

新任紹介

(敬称略)

まっの 日奈子

(総務部付 事務職員)



趣味は映画鑑賞。

会々起きる不正行為やデータねつ造と倫理教育の重要性、工学系の学生として理解しておかなければならない倫理を約1時間にとわって説明した。終了後には学生たちにアンケート。「卒論を書

同窓会



私は、小さな製造会社を経営しています。社長という役職柄、様々な会に参加することも多く、人脈が広がりに仕事に役立てたり、勉強をさせてもらっています。色々な方とお話する中で感じるのは、皆さんご自分の出身大学のネットワークを使い、積極的に人脈を

四季雑感



入試の季節です。サテライト入学試験監督の役割を仰せつかり、仙台に行っていました。本学の地方入試は、なんと約50年も続いているそうです。地方入試は受験生の負担を軽減する素晴らしい制度ですが、運営側にとっては不馴れな土地での難しい業務です。

編集だより



「おにはこころ ふくはうち」とみんなで豆をまいて……。子供のころから、必ず家族で楽しんだ2月3日の「節分」の日。伝統行事で親子のふれあいを大事にしたいと思